

舞台用脚本

ヨセフの若木

原作／脚本・岸野みさを

○作品を上演ご希望の方へ

私たちは、脚本家の著作権および作品の上演権を保護することは、とても大切だと考えています。

同時に、脚本家と演劇関係者の皆さんが出会える場を提供することも重要視しています。

脚本家に無断で本作品を上演したり、コピーなどで複製し配布することは、法律に違反することになります。

そこで上演をご希望の方のために一定期間の上演許諾付きの、特別頒布価格を設定しています。どうぞお気軽にご相談ください。

ご相談窓口は、クロスロード出版部です。

ヨセフの若木 〈アメリカ大陸原住民のルーツ〉

まえがき

これは末日聖徒イエス・キリスト教会の四大聖典の一つである「モルモン書」のニーファイ第一書の第一章から第十八章までを基盤に脚本化したものである。

モルモン書は紀元前六百年にエルサレムから主の導きによってアメリカ大陸に渡ったユダヤ人の記録から始まり、紀元四百二十一年までアメリカ大陸で繁栄し、滅亡した三つの民の宗教と世俗の記録である。ゼデキヤの息子のミュレクを経たユダの子孫は北の地へ、(オムナイ十五、モーサヤ二十五・二、ヒラマン六・十)リーハイを経たマナセの子孫とイシマエルを経たエフライムの子孫(アルマ十・三)は南の地へ導かれた。この記録は約一千年間に渡り主により選ばれた預言者たちによって受け継がれ、真鍮版に刻みこまれたものである。

また、モルモン書は旧約聖書の預言者エゼキエルの「ヨセフの木(版)とユダの木(版)は主の手で一つになる」(エゼキエル三十七・十五―二十)という預言の成就で、ヨセフの木(版)とはモルモン書でありユダの木(版)とは聖書を意味する。(英語欽定訳聖書Sticks『枝』ギリシャ語七十人訳聖書Wood『杖』であり、ヘブライ語Tzayon『エツ』この訳語は極めて例外的でありTzayonの本来の意味はWOODである。キース・H・メサビー)

モルモン書は二百三十八章で構成されている。イエス・キリストの降誕後の出来事を扱っているのは五十章に過ぎない。(約二十一%)イエス・キリストがニーファイ人を訪れた際の出来事を扱っているのは十八章に過ぎない。(約八%)モルモン書に登場する中心人物は復活されたイエス・キリストである。六千六百七

節に渡ってキリストについて記してある。確かにモルモン書は「イエス・キリストについてのもう一つの証」である。

「モルモン書は福音の教えを宣言し、救いの計画の概要を説き、人がこの世で平和を得、後の世で永遠の救いにあずかるには何をしなければならぬかを告げている。

モルモンは自分の記録を終えると、それを息子のモロナイに渡した。モロナイは自分の言葉を多少付け加えて、その版をクモラの丘に隠した。その後、千八百二十三年九月二十一日に、復活し栄光を受けた同じモロナイが預言者ジョセフ・スミスに現れて、古代のその記録について指示を与え、やがてそれが英語に翻訳されることを告げたのである。

その後時が訪れて、ジョセフ・スミスはその版を渡され、神の賜物と力によって翻訳した。そして、その記録は現在、イエス・キリストが生ける神の御子であられることを証し、またイエス・キリストのもとに来て、イエス・キリストの福音の律法と儀式に従うすべての人が救われることを証する、新たなもう一つの証の書物として、数多くの言語で出版されている」(モルモン書の序文より抜粋)。

この脚本が「モルモン書」を紹介する役割を果たすことができると祈りながら。

二〇一四年 一月

岸野 みさを

キャスト

リーハイ
サライア
レーマン
レムエル
サム
ニーファイ
ヤコブ
ヨセフ
メナシエ
ユダヤ人 一
ユダヤ人 二
ユダヤ人 三
祭司 一
祭司 二
ラバン
ラバンの召使
ラバンの守備隊三人
イシマエル

アディ（イシマエルの妻）
シーラ（長女）
シムハ（次女）
ヌーリ（三女）
ヤエル（四女）
オットー（長男）
ギル（シーラの長男）
アミール（ニーファイの長女）
マイアー（ヤエルの長女）
天使
主の声とみたま
ナレーター
スライド製作者
音楽担当、兼テープ係
衣装担当、メーカー係
舞台装置、大道具、小道具
照明係

脚本 岸野みさを
演出
総監督

第一幕

エルサレムの都

リーハイ

ユダの山よ、川よ。主なる神の言葉を聞け。主なる神は山と丘と谷と川に向かってこう言われる。見よ、終わりが来る、その終わりが来る。

この地に住むものよ、エルサレムの人々よ、あなたの最後の運命がきた。

主は言われる。私は我が怒りをユダに下し、あなたの行いに従って、あなたを裁き、あなたのもろもろの憎むべき罪悪のためにあなたを罰する。

この地は流血のとがに満ち、この町は暴虐に満ちている由、私はバビロンをつかわして不信の国を攻め、あなたを巷の泥のように踏みこむ。

ああ、バビロンは我が怒りの杖、我が憤りの鞭だ。

これによつてユダよ、あなたは、主である私があなただを撃つことを知る様になる。

私の定めに歩まず、私の掟を行わず、むしろ、あなたがたの周りにいる偶像に陥つた人々よ、私のつるぎによつて滅ぼされ、これによつて私が主であることを知る様になるのだ。

バアルでも、アシタロテでもなく、タゴンでもモレクでもない。私はアブラハム、イサク、ヤコブの神であり、あなたがたをエジプトから導きだした神、我ありの神である。

その私を知る様になると主は言われる。主は言われる・・・

(途中からユダヤ人三人下手より登場。ひそひそ話し合っている。)

ユダヤ人一

又、あの預言者だ。オイ、我々はそんな迷い事は聞きたくない。

見よ、このエルサレムの繁栄振りはどうだ、ええ？

どこに滅亡の影があるというのだ？この大きな都エルサレムが滅びる？ 何故だ？。

ユダヤ人二

偶像崇拜とか何とか。我々が生まれた時からバアルやアシタロテの祭壇があったのだ。イスラエルに偶像を持ち込んだのは我々ではない。

リーハイ柱の影にスタンバイ。
リーハイの影を出す。

音楽バルトーク「管弦楽のための協奏曲第一楽章」、リーハイに石を投げつけるところまで同じ音楽。舞台装置照明、青3か所、紫3か所。リーハイ登場右スポットを当てる。

ステージ照明全開、左右
スポットでリーハイとユダヤ人
を照らす

ユダヤ人三

ソロモン王の女達ではないか。そんなことは我々の責任ではない。むしろ、我々は他の宗教と仲良くやっっているではないか。それで国が安泰だと言うことをお前は知らないのか？

バビロンが何でしょう。我々にはエジプトがついている。我々の王であるゼデキヤとエジプトの王ネコとは同盟を組んで、バビロンと交戦しようとしているではありませんか。

リーハイ

ああ、ユダの人々よ。あなたの同胞であるイスラエル王国がどうなったか、あなた方は知っている筈だ。

百二十一年前、最後の首都サマリヤは陥落し、イスラエルの民はアッスリヤに虜となつて連れていかれたではないか。

ユーフラテスの川の向こうに散乱してしまった。

ああ、我々の同胞であるイスラエルの十支族は、自国にて守るべき掟を守らなかった。人の住むことなき遠い北の国へ散らされてしまった。

ああ、ユダの人々よ、今自分達の上に差し迫っている運命を悟れ。

いや、運命ではない。自ら招いた滅亡である。

「ああ、罪深い国びと、不義を負う民、悪をなす者のすえ、墮落せる子らよ。

彼らは主を捨て、イスラエルの聖者をあなどり、これをうとんじ遠ざかった。

あなたがたは、どうして重ね重ねそむいて、なおも打たれようとするのか。

その頭はことごとく病み、その心は全く弱りはてている。」（イザヤ1…4―5）

（ひざまずいて右手は頭に左手は握りこぶしで苦悩を表現）

しかし、さあ、今からでも遅くはない。悔い改めようではないか。

身を洗って清くなり、我々の悪い行いをとり除き、悪を行うことを止め、善を行い、公平を求め、しいたげる者を戒め、みなしごを正しく守り、たとえ、我々の罪が紅のように赤くても、雪の様に白くなるのだ。

友よ、同胞よ、今からでも遅くはない。悔い改めよ。

(左右に動き、愛を込めて呼びかける)

悔い改めて主の訓戒に従わなければ、エルサレムとその神殿は破壊され、我々はバビロンに捕らわれる。住民は全て捕らわれの身となる、と主は言われる。

ユダヤ人一
あつ、祭司がきた。これは面白くなるぞ。ウヒヒヒ・・・

(祭司二人、先程から下手もの影で聞いている。二人登場。)

祭司一
こら。その老いぼれ、おまえは誰だ？見かけない顔だ。

祭司二
エルサレムとその神殿は破壊され、我々はバビロンに捕らわれる？
そうかわかつたぞ。おまえはバビロンのまわし者だな。そうだろう？

リーハイ
いいえ、私はユダヤ人で預言者リーハイです。

祭司一
エレミヤなら投獄されたが、リーハイなんて知らないぞ。

祭司二
我々の耳に聞くに耐えない事を言う様では偽予言者に違いない。

祭司一
我々の神殿が破壊されるとは、なんたる侮辱！なんたる冒瀆！
それでもユダヤ人か。祖国に対する反逆だ。神を冒瀆するものだ。撤回せよ。

今言ったことは偽りであると撤回せよ。そうしたら許してやる。

リーハイ
主の言葉が私に臨んで言ったのです。偽りではありません。

預言者アモス、イザヤ、ホセア、ミカ、エレミヤ、同じ預言をしたのは、あなた方の
良く知っているところである。

祭司二
黙れ、黙れ偽預言者め。こうしてやる。

祭司一

(石を投げつける。ティンパニーを鳴らす。)
偽預言者はこうなるのだ。みんな石を投げろ！それー。

(リーハイ、ぼったり倒れる。リーハイにスポットを絞り暗転。)

主の声

リーハイよ。リーハイよ。

(だんだん大きく近づく。リーハイ身を起こす。音楽なし)

リーハイよ。エルサレムを出立つせよ。エルサレムを出立つせよ！
汝の妻子と天幕と食糧を携えて荒野に逃れよ。荒野に・・・

リーハイ

主よ、主よ、御言葉通り致します。

(下手より、ニーファイ、サム走って来る。)

ニーファイ

お父さん、お父さん、大丈夫ですか？心配で捜しに来たのです。

サム

さあ、肩につかまって。帰りましょう。

(下手に退場。)

第二幕

荒野

リーハイ、レーマン、レムエル、
サム、ニーファイ、サライア、妹のメナシエ、父の話を聞いている。
レーマン、レムエル不平をならす。

レーマン

ああ、こんな荒野はもうたくさんだ。砂嵐と野のけものと盗賊のであるこんな砂漠にい

右スポット徐々に明るく。

左右スポット全開。

舞台装置の照明、黄3か
所赤緑1か所、紫1か所
ステージ照明全開。

砂嵐の音、二幕の最後まで

つ迄いるのか？（イライラして口を尖らせたり歪めたり）

レムエル

しかし、兄貴、野のけものは我々の食糧だぜ。兄貴は弓の名人じゃないか。あの都エルサレムではこうはいかないよ。ここには、ライオン、いのしし、毒蛇なんでもいる。オレは面白いな。エルサレムの生活はたいくつき。歌と踊りと女達、兄貴だってそんなに通でもなかったじゃないか。それともオレが知らないだけかなへっへっへっ。

レーマン

そうじゃない、約束の地ってヤツはどこかときいているんだ。父さんの言う、乳と蜜の流れる約束の地さ、どうやらこんな不毛の砂漠ではなからう。

レムエル

そうだ、オレもそれがききたい。そのために我々はエルサレムを出たのだから。しかし、父さんは幻に耽ける人だからな・・・ホントッ。

リーハイ

レーマン、レムエル、私は主が命じ給う通りに家族を荒野に連れだした。主は命じたのだ。エルサレムは必ず破壊され、住民は滅ぼされ、多くの者がとりこにされて、バビロンに連れていかれる。エルサレムの罪悪が熟したからである、（強調）と主は言われた。

レーマン

それは何回も何回も聞きました。それで一体我々はどこへ行くのか？

リーハイ

今は私にも分からない。主が導いて下さる。

レーマン

分からない？冗談じゃない。行く先も分からずどこへ行くと言うのですか？こんな荒野に連れ出して・・・。

レムエル

面白い。私の行くところどこですか？ここまで来たけど分からない。誰か教えて下さいな、ここはどこ？ 私は誰？

サライア

これこれ、レムエル。お父さまの話をまじめに聞きましょう。

あとがき

この台本を使って（当時のタイトルは帰らざる旅）1988年11月3日、東京西ステークの文化祭で2回目の公演が行われました。その前年、当時の八王子ワードのクリスマス会で初めての公演があったことを聞いたステーク会長が「観てみたい」の一言で今度はステーク文化祭というステージに移りました。キャストは大幅に変わりましたが一回経験しているの、何かと物事が上手く運びました。スタッフやキャストに大学生が多く参加しました。

舞台装置、大道具、小道具を担当した行本悟兄弟は造形美術大学の学生で、その才能を十分に発揮されて、評判になりました。彼は2007年ボリビヤの首都ラパスにて享年39歳で他界しました。レーマン役の吉岡修一兄弟は2011年享年48歳で鹿児島から八王子に戻ってきて他界しました。

ニーフアイ役の内田健児兄弟は現在大分で実子5人に加えて里子まで育てています。一人ひとりについて書きたいのですが紙面が足りません。

社会人になった皆さんは北海道から九州まで、各地に散って行きました。現在働き盛りの年齢で教会や家庭、地域社会で活躍されています。

この演劇を通して、皆さんが青春のページを花と実のあるものにするのができたのであれば、それは主なる天父からの祝福であることを感謝申し上げます。

2014年6月

著者 岸野みさを

著者プロフィール

- 1940年生まれ
- 1964年改宗
- 一男一女の母
三男四女の祖母
- 現町田ステーク
広報スペシャリスト
- 創業35年保険代理
店(株)岸陽創設者
- フォーラム穀粒
創設メンバー
- 出版著書
「わが娘聴子へ」
- 趣味：天や人の創
造された作品を、
観る、読む、聴く
- そして自分でも
書いてみる

ヨセフの若木（演劇用舞台脚本）

○著者 岸野 みさを

○劇中使用楽曲選定

岸野 みさを

○カバーデザイン

市川 春菜

○初版

第一刷発行日

2014年10月1日

○発行

〒213-0001

神奈川県川崎市高津区

溝口3-12-12

株式会社クロスロード

○発行人

小野 和俊

○印刷製本

〒604-0812

京都府京都市中京区

高倉通二条上る天守町766

創栄図書印刷株式会社

○ISBN : 978-4877113087

○JAN : 1920074008001

CROSSROADS

http://www.crossroads.co.jp

○株式会社クロスロード Tel : 044-829-5067 Fax: 044-829-5007 e-mail : info@crossroads.co.jp

©All rights reserved by MisaWo Kishino, 2013